

遺族によるホスピス・緩和ケアの構造・プロセス・アウトカムの評価

青山 真帆*

サマリー

ケアの構造・プロセスの評価尺度である Care Evaluation Scale, 望ましい死の達成度を評価する尺度である Good Death Inventory, 受けたケアに対する全般的満足度によって, 遺族によるホスピス・緩和ケアの評価を実施した. ケアの構造・プロセスについては, 全体的に評価が高かった. 一般病院では家族への配慮や設備, 在宅ケア施設においては利用のしやすさについて, やや改善の余地があることが明らかになった. 受けられたケアに対する全般的満足度の評価については, ほとんどの遺族は満足の内

のであったと評価していることが示された. 望ましい死の達成度については「苦痛の緩和」に関する項目において, 一般病院で課題が認められた. また, 在宅ケア施設における「望んだ場所で過ごせた」の回答割合から, 在宅療養の需要の高さが示唆された. これらの傾向は, 過去の J-HOPE, J-HOPE2 とほぼ一致する結果であり, 若干の課題は残しつつも, 遺族からみた, わが国のホスピス・緩和ケアの質は高く維持されていることが明らかになった.

背景・目的

ケアの質の評価は, 構造・プロセス・アウトカムの3側面によって, 国内外で広く行われている. わが国のホスピス・緩和ケアの質の評価においては, 構造・プロセスの評価尺度として Care Evaluation Scale (CES)¹⁾, アウトカムとして望ましい死の達成度の尺度, Good Death Inventory (GDI)^{2,3)}が開発され, 広く調査に用いられている.

CESは, ケアの構造プロセスについて, 全28項目によって評価する尺度¹⁾であるが, 開発後に調査で用いるにあたり, 誤記入が多く改良が必要とされていたため, 2013年 J-HOPE3 研究の予備調査として, おもなドメインはそのまま誤記入率を改善した, CESの改訂版 CES ver.2が開発された(データ未公開). また, 同時に CES ver.2 短縮版も開発された. CES ver.2 短縮版は CESの10ドメイン(「1. 医師の対応について」

*東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野

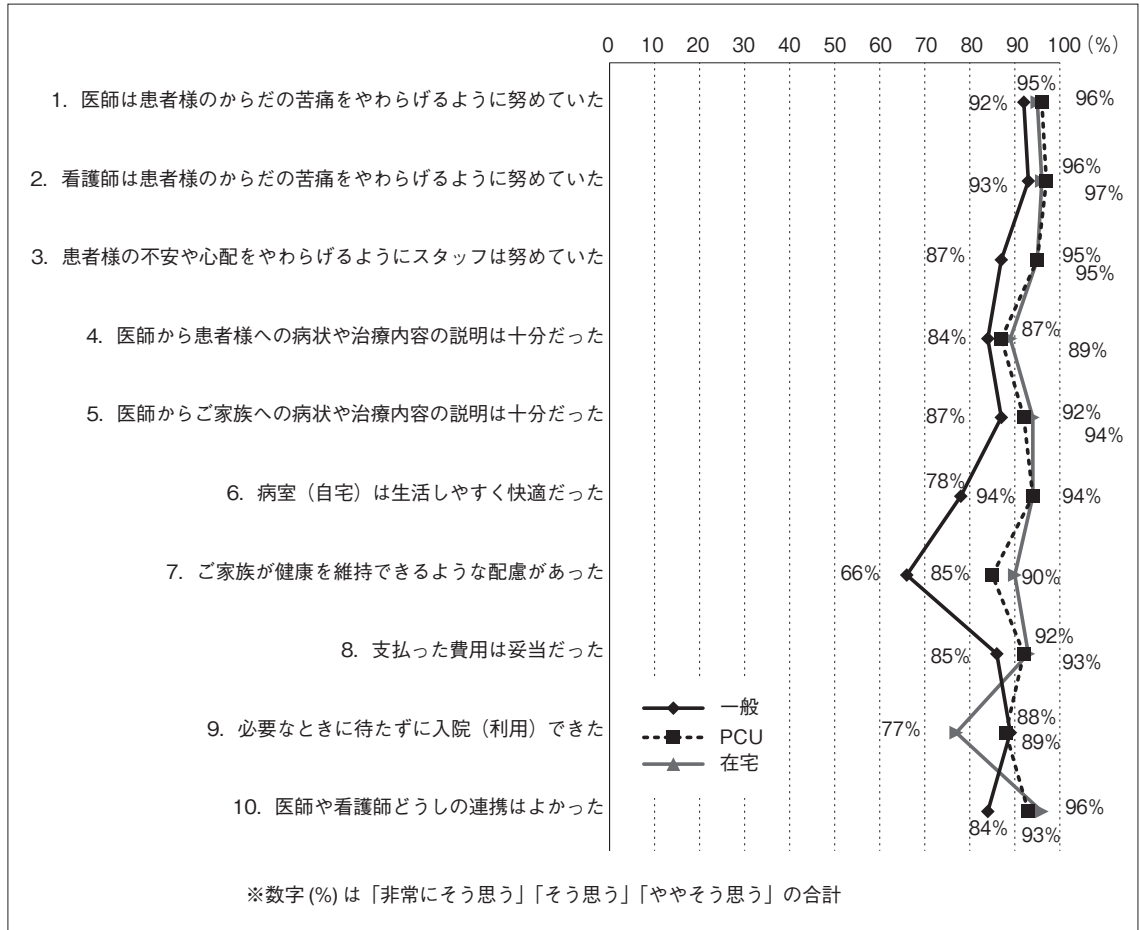


図1 ケアの構造・プロセスの評価—施設別の回答分布—

「2. 看護師の対応について」「3. 患者への精神的配慮について」「4. 医師から患者への説明について」「5. 医師からご家族への説明について」「6. 設備について」「7. ご家族への配慮について」「8. 費用について」「9. 入院（利用）について」「10. 連携や継続性について」) について、それぞれ1項目、合計10項目について、十分なケアを受けられたかどうかについて、「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「ややそう思わない」「そう思わない」「非常にそう思わない」の6段階、または「該当しない」の7段階で評価を行う尺度である。

GDIは、患者の望ましい死の達成度について

遺族の視点から評価を行う尺度²⁾であり、「からだのつらさがやわらげられていること」「望んだ場所で過ごすこと」など、多くの人が共通して重要と考える10のコアドメイン30項目と、「先々のことを知っていること」「信仰に支えられていること」など、人によって大切さが異なるが重要である8のオプションドメイン24項目から構成されている。また、GDIの短縮版は合計18ドメインから1項目ずつ抽出された、計18項目で構成されている。

日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団の研究事業である、過去2回の「遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する研究 (J-HOPE)」に

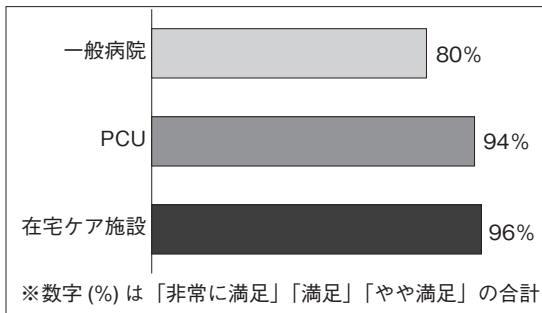


図2 ケアに対する全般的満足度—施設別回答の分布—

においても、これら CES や GDI および受けたケアについて総合的に評価する目的で全般的満足度について調査を行っている⁴⁻⁶⁾。本調査では、過去2回の J-HOPE 研究同様、日本ホスピス緩和ケア協会の会員施設である、一般病院、ホスピス・緩和ケア病棟（以下 PCU）、在宅ケア施設において、ケアの構造・プロセス・アウトカムの遺族による評価を CES, GDI, ケアに対する全般的満足度を用いて評価することを目的とする。

結果

1) ケアの構造・プロセスの評価

CES ver.2 短縮版を用いた、ケアの構造・プロセスの評価の結果を図1に示した。「1. 医師の対応について」、「2. 看護師の対応について」は、一般病院、PCU、在宅ケア施設いずれにおいても、「ややそう思う～非常にそう思う」と肯定的な評価をしている割合が92～97%と高かった。「3. 患者様への精神的配慮について」、「4. 医師から患者様への説明について」、「5. 医師からご家族への説明について」、「8. 費用について」、「10. 連携や継続性について」も同様に、肯定的な評価が84～95%と高い割合を示した。「6. 設備について」は、一般病院では肯定的評価が78%であったの対して、PCU と在宅ケア施設ではともに肯定的評価の割合が94%と高かった。「ご家族への配慮について」においても同様で、一般病院での肯定的評価の割合が、66%であったの対し、PCU では85%、在宅ケア施設では90%

であった。「9. 入院（利用）について」は、肯定的評価の割合が、一般病院で89%、PCUで88%であったが、在宅ケア施設77%であった。CES 各項目の回答分布の詳細については、表1に示した。

2) ケアに対する全般的満足度

ケアに対する全般的満足度の結果を図2に示した。「全般的に患者様が亡くなられた場所で受けられた医療は満足でしたか」の問いに「非常に満足」「満足」「やや満足」と回答したものの割合は、一般病院で80%、PCUで94%、在宅ケア施設で96%であった。回答の詳細な分布については、表1に示した。

3) 望ましい死の達成度

GDI 短縮版を用いて評価した、望ましい死の達成度の評価を図3、表2に示した。

GDI のコア10ドメインについて、「からだや心のつらさがやわらげられていること」のドメインについては、「1-1. 痛みが少なく過ごせた」「1-2. からだの苦痛が少なく過ごせた」「1-3. おだやかな気持ちで過ごせた」の3項目すべてを尋ねた。3項目いずれも、PCU および在宅ケア施設では71～79%が「ややそう思う～非常にそう思う」と肯定的な評価であったのに対し、一般病院では、いずれにおいても肯定的な評価の割合は46～58%であった。「2. 望んだ場所で過ごせた」、「6. 家族と十分に時間を過ごせた」の項目については、肯定的評価の割合が在宅ケア施設でそれぞれ90%と81%であったのに対し、一般病院では44%と58%、PCUでは57%と66%であった。同様に、「3. 楽しみになることがあった」に対しても、在宅ケア施設では63%が肯定的な回答で、一般病院では30%、PCUでは43%であった。「4. 医師を信頼していた」「9. ひととして大切にされていた」については、肯定的な評価の割合が78～97%と相対的に高く、特に在宅ケア施設では医師の信頼については87%、ひととして大切にされていたことについては97%

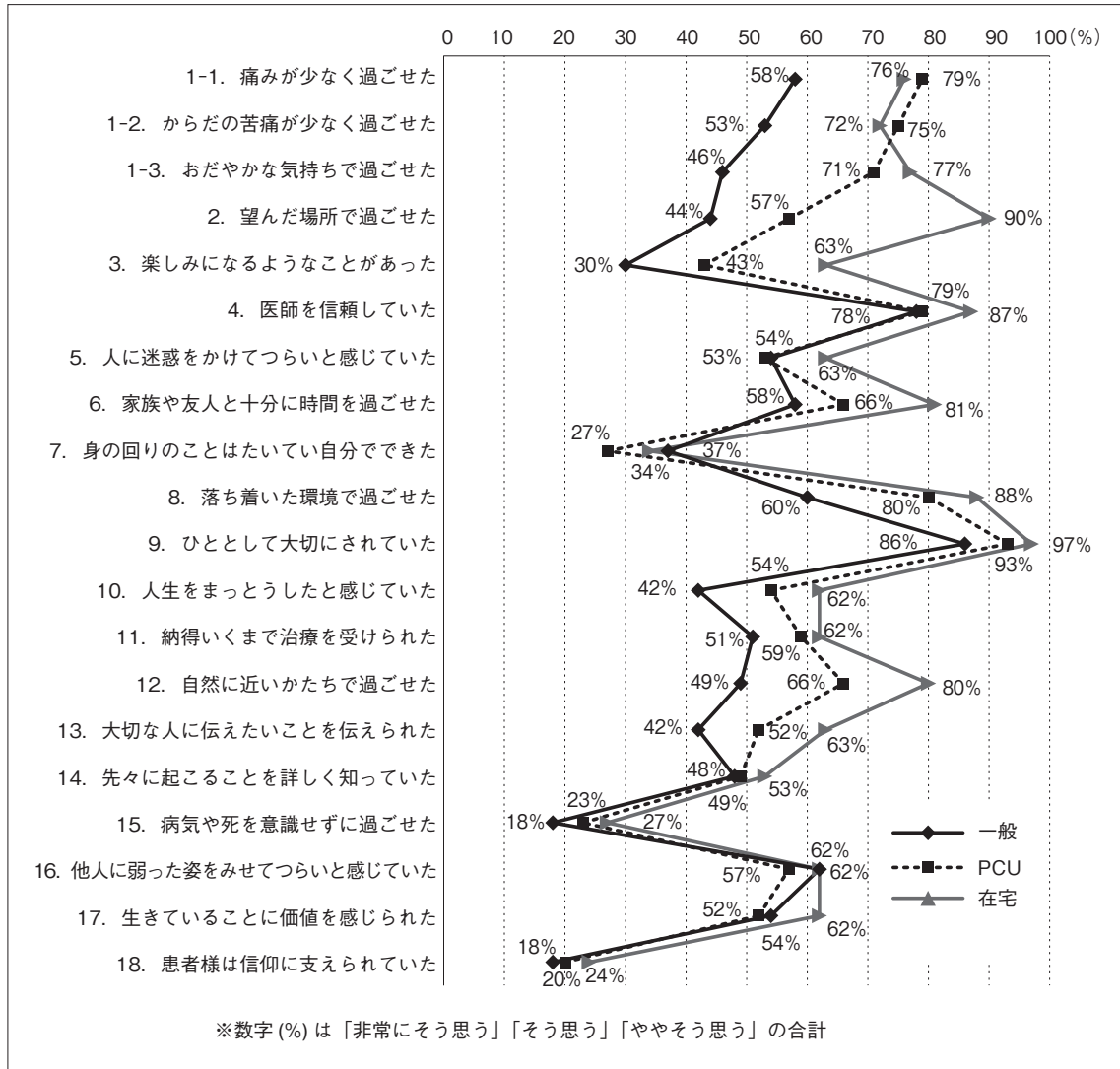


図3 望ましい死の達成度の評価—施設別の回答分布—

と高い割合を示した。「5. (患者様は) 人に迷惑をかけてつらいと感じていた」については、「ややそう思う～非常にそう思う」と回答した割合が一般病院 54%、PCU 53%と半数程度であったが、在宅ケア施設においては 63%と相対的にやや高い割合を示した。「7. 身の回りのことはたいい自分でできた」については「ややそう思う～非常にそう思う」の割合が 27～37%と相対的に低かった。「8. 落ち着いた環境で過ごせた」につ

いては、PCUで 80%、在宅ケア施設で 88%と肯定的評価が高い割合を示したが、一般病院では 60%であった。「10. 人生をまっとうしたと感じていた」については、一般病院で 42%、PCUで 54%、在宅ケア施設で 62%が「ややそう思う～非常にそう思う」と回答した。

オプション8ドメインについては、「11. 納得いくまで治療を受けられた」(51～62%)、「14. 先々に起こることを詳しく知っていた」(48～

表1 ケアの構造・プロセスの評価とケアに対する全般的満足度一回答の分布

		全 体		一般病院		PCU		在宅ケア施設	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1. 医師は患者様のからだの苦痛をやわらげるように努めていた	非常にそう思う	3449	39%	208	26%	2768	39%	473	48%
	そう思う	4287	48%	422	55%	3453	49%	412	41%
	ややそう思う	684	8%	93	12%	527	7%	64	6%
	あまりそう思わない	177	2%	30	4%	139	2%	8	1%
	そう思わない	71	1%	12	2%	48	1%	11	1%
	まったくそう思わない	42	0%	11	1%	27	0%	4	0%
	該当なし	128	1%	14	2%	92	1%	22	2%
2. 看護師は患者様のからだの苦痛をやわらげるように努めていた	非常にそう思う	3588	41%	187	24%	2933	42%	468	47%
	そう思う	4195	49%	405	53%	3377	48%	413	42%
	ややそう思う	718	8%	140	19%	512	7%	66	7%
	あまりそう思わない	142	2%	23	3%	113	2%	6	1%
	そう思わない	58	1%	12	2%	40	1%	6	1%
	まったくそう思わない	27	0%	9	1%	15	0%	3	0%
	該当なし	110	1%	12	2%	72	1%	26	3%
3. 患者様の不安や心配をやわらげるようにスタッフは努めていた	非常にそう思う	3300	37%	165	21%	2688	38%	447	45%
	そう思う	4102	51%	368	47%	3309	47%	425	43%
	ややそう思う	941	12%	149	20%	720	10%	72	7%
	あまりそう思わない	262	3%	58	8%	182	3%	22	2%
	そう思わない	101	1%	24	3%	68	1%	9	1%
	まったくそう思わない	40	0%	12	2%	23	0%	5	1%
	該当なし	66	1%	11	1%	45	1%	10	1%
4. 医師から患者様への病状や治療内容の説明は十分だった	非常にそう思う	2491	28%	166	21%	1984	28%	341	35%
	そう思う	3721	40%	331	41%	2990	43%	400	41%
	ややそう思う	1437	15%	156	19%	1142	16%	139	14%
	あまりそう思わない	546	6%	70	9%	426	6%	50	5%
	そう思わない	183	2%	27	3%	139	2%	17	2%
	まったくそう思わない	73	1%	16	2%	52	1%	5	1%
	該当なし	332	4%	16	2%	281	4%	35	4%
5. 医師からご家族への病状や治療内容の説明は十分だった	非常にそう思う	3104	35%	194	25%	2500	35%	410	41%
	そう思う	3872	43%	353	47%	3097	44%	422	43%
	ややそう思う	1142	13%	138	18%	910	13%	94	10%
	あまりそう思わない	433	5%	52	7%	343	5%	38	4%
	そう思わない	161	2%	29	4%	115	2%	17	2%
	まったくそう思わない	88	1%	18	2%	65	1%	5	1%
	該当なし	27	0%	2	0%	23	0%	2	0%
6. 病室（自宅）は生活しやすく快適だった	非常にそう思う	3189	36%	108	14%	2727	39%	354	36%
	そう思う	3608	49%	289	37%	2880	41%	439	44%
	ややそう思う	1372	18%	215	27%	1015	14%	142	14%
	あまりそう思わない	401	5%	95	12%	273	4%	33	3%
	そう思わない	137	2%	44	6%	80	1%	13	1%
	まったくそう思わない	71	1%	22	3%	45	1%	4	0%
	該当なし	40	0%	9	1%	27	0%	4	0%

表1 ケアの構造・プロセスの評価とケアに対する全般的満足度（つづき）

7. ご家族が健康を維持できるような配慮があった	非常にそう思う	1809	21%	75	10%	1506	22%	228	23%
	そう思う	3674	42%	238	31%	2998	43%	438	45%
	ややそう思う	1790	19%	191	25%	1391	20%	208	21%
	あまりそう思わない	846	9%	141	18%	637	9%	68	7%
	そう思わない	219	2%	56	7%	151	2%	12	1%
	まったくそう思わない	123	1%	38	5%	81	1%	4	0%
	該当なし	229	3%	30	4%	181	3%	18	2%
8. 支払った費用は妥当だった	非常にそう思う	1837	21%	91	12%	1517	22%	229	24%
	そう思う	4490	46%	388	51%	3606	52%	496	51%
	ややそう思う	1517	17%	174	23%	1169	17%	174	18%
	あまりそう思わない	405	5%	55	7%	319	5%	31	3%
	そう思わない	156	2%	16	2%	119	2%	21	2%
	まったくそう思わない	37	0%	7	1%	23	0%	7	1%
	該当なし	165	2%	32	4%	121	2%	12	1%
9. 必要なときに待たずに入院（利用）できた	非常にそう思う	2961	34%	231	29%	2455	35%	275	29%
	そう思う	3510	41%	390	50%	2749	39%	371	39%
	ややそう思う	1133	12%	79	10%	974	14%	80	8%
	あまりそう思わない	427	5%	30	4%	369	5%	28	3%
	そう思わない	317	3%	26	3%	271	4%	20	2%
	まったくそう思わない	172	2%	20	3%	144	2%	8	1%
	該当なし	241	3%	10	1%	67	1%	164	17%
10. 医師や看護師どうしの連携はよかった	非常にそう思う	2754	31%	145	18%	2157	31%	452	46%
	そう思う	4099	67%	357	45%	3329	47%	413	42%
	ややそう思う	1281	59%	159	20%	1043	15%	79	8%
	あまりそう思わない	370	29%	67	9%	279	4%	24	2%
	そう思わない	149	6%	28	4%	111	2%	10	1%
	まったくそう思わない	87	1%	21	3%	63	1%	3	0%
	該当なし	49	1%	7	1%	36	1%	6	1%
ケアに対する全般的満足度（一般的に患者様が最期の療養場所で受けた医療は満足だったか）	非常に不満足	90	1%	13	2%	73	1%	4	0%
	不満足	154	2%	39	5%	107	2%	8	1%
	やや不満足	393	4%	97	13%	274	4%	22	2%
	やや満足	1403	16%	222	29%	1007	14%	174	18%
	満足	3934	45%	306	40%	3190	45%	438	46%
	非常に満足	2785	32%	95	12%	2375	34%	315	33%

53%), 「16. 他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた」(57~62%), 「17. 生きていることに価値を感じられた」(52~62%)と、どの施設においても、約半数が「ややそう思う~非常にそう思う」と回答していた。「12. 自然に近いかたちで過ごせた」については、一般病院で49%, PCUで66%, 在宅ケア施設で80%が「ややそう思う~非常にそう思う」と回答していた。「13.

大切な人に伝えたいことを伝えられた」については、一般病院で42%, PCUで52%, 在宅ケア施設で63%が「ややそう思う~非常にそう思う」と回答していた。「15. 病気や死を意識せずに過ごせた」, 「18. 患者様は信仰に支えられていた」の2項目については、それぞれ18~27%と、どの施設においても「ややそう思う~非常にそう思う」と回答していた割合が相対的に低かった。

表2 望ましい死の達成度一回答の分布

		全 体		一般病院		PCU		在宅ケア施設	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1-1. 痛みが少なく過ごせた	全くそう思わない	179	2%	46	6%	115	2%	18	2%
	そう思わない	412	5%	72	9%	293	4%	47	5%
	あまりそう思わない	514	6%	77	10%	372	5%	65	7%
	どちらともいえない	935	11%	127	17%	704	10%	104	11%
	ややそう思う	1697	19%	177	23%	1342	19%	178	18%
	そう思う	3877	44%	222	29%	3255	46%	400	41%
	非常にそう思う	1141	13%	48	6%	935	13%	158	16%
1-2. からだの苦痛が少なく過ごせた	全くそう思わない	201	2%	44	6%	135	2%	22	2%
	そう思わない	448	5%	93	12%	302	4%	53	5%
	あまりそう思わない	649	7%	100	13%	468	7%	81	8%
	どちらともいえない	1075	12%	125	16%	831	12%	119	12%
	ややそう思う	1957	22%	183	24%	1571	22%	203	21%
	そう思う	3501	40%	183	24%	2957	42%	361	37%
	非常にそう思う	922	11%	39	5%	751	11%	132	14%
1-3. おだやかな気持ちで過ごせた	全くそう思わない	161	2%	39	5%	107	2%	15	2%
	そう思わない	382	4%	79	10%	272	4%	31	3%
	あまりそう思わない	568	7%	99	13%	418	6%	51	5%
	どちらともいえない	1573	18%	193	25%	1257	18%	123	13%
	ややそう思う	1807	21%	169	22%	1439	21%	199	21%
	そう思う	3090	35%	147	19%	2574	37%	369	38%
	非常にそう思う	1137	13%	39	5%	918	13%	180	19%
2. 望んだ場所で過ごせた	全くそう思わない	308	4%	46	6%	250	4%	12	1%
	そう思わない	672	8%	112	15%	547	8%	13	1%
	あまりそう思わない	596	7%	89	12%	494	7%	13	1%
	どちらともいえない	1932	22%	179	24%	1694	24%	59	6%
	ややそう思う	1251	14%	113	15%	1055	15%	83	9%
	そう思う	2557	29%	167	22%	2063	30%	327	34%
	非常にそう思う	1378	16%	55	7%	859	12%	464	48%
3. 楽しみになるようなことがあった	全くそう思わない	555	6%	88	12%	437	6%	30	3%
	そう思わない	953	11%	121	16%	775	11%	57	6%
	あまりそう思わない	1156	13%	122	16%	945	14%	89	9%
	どちらともいえない	2184	25%	194	26%	1807	26%	183	19%
	ややそう思う	1477	17%	107	14%	1182	17%	188	20%
	そう思う	1700	20%	92	12%	1318	19%	290	30%
	非常にそう思う	587	7%	28	4%	434	6%	125	13%
4. 医師を信頼していた	全くそう思わない	97	1%	7	1%	80	1%	10	1%
	そう思わない	187	2%	29	4%	151	2%	7	1%
	あまりそう思わない	247	3%	28	4%	197	3%	22	2%
	どちらともいえない	1250	14%	107	14%	1059	15%	84	9%
	ややそう思う	1416	16%	151	20%	1138	16%	127	13%
	そう思う	3765	43%	308	40%	3022	43%	435	45%
	非常にそう思う	1729	20%	142	18%	1310	19%	277	29%
5. 人に迷惑をかけてつらいと感じていた	全くそう思わない	348	4%	22	3%	282	4%	44	5%
	そう思わない	898	10%	85	11%	733	11%	80	8%

表2 望ましい死の達成度 (つづき)

5. 人に迷惑をかけてつらいと感じていた	あまりそう思わない	866	10%	71	9%	721	10%	74	8%
	どちらともいえない	1835	21%	169	22%	1512	22%	154	16%
	ややそう思う	2179	25%	191	25%	1722	25%	266	28%
	そう思う	1792	21%	167	22%	1375	20%	250	26%
	非常にそう思う	753	9%	57	7%	605	9%	91	9%
6. ご家族やご友人と十分に時間を過ごせた	全くそう思わない	171	2%	23	3%	134	2%	14	1%
	そう思わない	458	5%	59	8%	371	5%	28	3%
	あまりそう思わない	802	9%	96	13%	657	9%	49	5%
	どちらともいえない	1413	16%	144	19%	1176	17%	93	10%
	ややそう思う	2053	24%	184	24%	1666	24%	203	21%
	そう思う	2842	33%	202	26%	2260	32%	380	39%
7. 身の回りのことはたいてい自分でできた	非常にそう思う	959	11%	56	7%	706	10%	197	20%
	全くそう思わない	2335	27%	136	18%	2014	29%	185	19%
	そう思わない	2051	24%	172	23%	1661	24%	218	23%
	あまりそう思わない	1017	12%	95	12%	783	11%	139	14%
	どちらともいえない	818	9%	80	10%	642	9%	96	10%
	ややそう思う	1052	12%	111	15%	790	11%	151	16%
8. 落ち着いた環境で過ごせた	そう思う	1095	13%	134	18%	838	12%	123	13%
	非常にそう思う	303	3%	34	4%	218	3%	51	5%
	全くそう思わない	121	1%	28	4%	80	1%	13	1%
	そう思わない	260	3%	50	7%	196	3%	14	1%
	あまりそう思わない	330	4%	73	10%	237	3%	20	2%
	どちらともいえない	1118	13%	154	20%	891	13%	73	8%
9. ひととして大切にされていた	ややそう思う	2064	24%	208	27%	1658	24%	198	20%
	そう思う	3625	42%	200	26%	2975	43%	450	46%
	非常にそう思う	1193	14%	48	6%	944	14%	201	21%
	全くそう思わない	50	1%	8	1%	36	1%	6	1%
	そう思わない	94	1%	22	3%	64	1%	8	1%
	あまりそう思わない	98	1%	14	2%	80	1%	4	0%
10. 人生をまっとうしたと感じていた	どちらともいえない	420	5%	65	8%	340	5%	15	2%
	ややそう思う	1141	13%	163	21%	881	13%	97	10%
	そう思う	4413	51%	340	44%	3612	52%	461	48%
	非常にそう思う	2516	29%	153	20%	1987	28%	376	39%
	全くそう思わない	651	7%	78	10%	514	7%	59	6%
	そう思わない	809	9%	108	14%	632	9%	69	7%
11. 納得がいくまで治療を受けられた	あまりそう思わない	616	7%	73	10%	480	7%	63	7%
	どちらともいえない	1915	22%	185	24%	1554	22%	176	18%
	ややそう思う	1103	13%	101	13%	863	12%	139	14%
	そう思う	2381	27%	145	19%	1954	28%	282	29%
	非常にそう思う	1210	14%	72	9%	965	14%	173	18%
	全くそう思わない	297	3%	44	6%	227	3%	26	3%
11. 納得がいくまで治療を受けられた	そう思わない	577	7%	73	10%	449	6%	55	6%
	あまりそう思わない	602	7%	73	10%	468	7%	61	6%
	どちらともいえない	2140	25%	188	25%	1728	25%	224	23%
	ややそう思う	1323	15%	132	17%	1038	15%	153	16%
	そう思う	2779	32%	196	26%	2277	33%	306	32%
	非常にそう思う	951	11%	61	8%	757	11%	133	14%

表2 望ましい死の達成度 (つづき)

12. 自然に近いかたちで過ごせた	全くそう思わない	222	3%	40	5%	167	2%	15	2%
	そう思わない	488	6%	79	11%	380	5%	29	3%
	あまりそう思わない	584	7%	85	11%	458	7%	41	4%
	どちらともいえない	1614	19%	179	24%	1332	19%	103	11%
	ややそう思う	1650	19%	145	19%	1344	19%	161	17%
	そう思う	3035	35%	181	24%	2477	36%	377	40%
	非常にそう思う	1042	12%	42	6%	773	11%	227	24%
13. 大切な人に伝えたいことを伝えられた	全くそう思わない	517	6%	72	9%	412	6%	33	3%
	そう思わない	812	9%	88	12%	671	10%	53	6%
	あまりそう思わない	846	10%	101	13%	661	10%	84	9%
	どちらともいえない	1955	23%	178	23%	1590	23%	187	20%
	ややそう思う	1544	18%	118	16%	1255	18%	171	18%
	そう思う	2229	26%	159	21%	1762	25%	308	32%
	非常にそう思う	759	9%	44	6%	594	9%	121	13%
14. 先ざきに起こることを詳しく知っていた	全くそう思わない	576	7%	61	8%	465	7%	50	5%
	そう思わない	923	11%	86	11%	748	11%	89	9%
	あまりそう思わない	889	10%	81	11%	724	10%	84	9%
	どちらともいえない	1976	23%	167	22%	1581	23%	228	24%
	ややそう思う	1683	19%	147	20%	1345	19%	191	20%
	そう思う	1940	22%	163	22%	1539	22%	238	25%
	非常にそう思う	675	8%	48	6%	548	8%	79	8%
15. 病気や死を意識せずに過ごせた	全くそう思わない	1016	12%	108	14%	827	12%	81	8%
	そう思わない	1847	21%	211	28%	1434	21%	202	21%
	あまりそう思わない	1141	13%	115	15%	892	13%	134	14%
	どちらともいえない	2643	30%	195	26%	2163	31%	285	30%
	ややそう思う	897	10%	72	9%	722	10%	103	11%
	そう思う	923	11%	51	7%	747	11%	125	13%
	非常にそう思う	207	2%	12	2%	162	2%	33	3%
16. 他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた	全くそう思わない	257	3%	25	3%	205	3%	27	3%
	そう思わない	698	8%	56	7%	577	8%	65	7%
	あまりそう思わない	790	9%	63	8%	648	9%	79	8%
	どちらともいえない	1893	22%	148	19%	1549	22%	196	20%
	ややそう思う	2118	24%	191	25%	1677	24%	250	26%
	そう思う	2049	24%	180	24%	1607	23%	262	27%
	非常にそう思う	875	10%	100	13%	694	10%	81	8%
17. 生きていることに価値を感じられた	全くそう思わない	140	2%	14	2%	114	2%	12	1%
	そう思わない	365	4%	35	5%	304	4%	26	3%
	あまりそう思わない	422	5%	39	5%	345	5%	38	4%
	どちらともいえない	3104	36%	262	35%	2552	37%	290	30%
	ややそう思う	1434	17%	144	19%	1115	16%	175	18%
	そう思う	2427	28%	203	27%	1903	28%	321	34%
	非常にそう思う	719	8%	59	8%	566	8%	94	10%
18. 信仰に支えられていた	全くそう思わない	2376	27%	235	31%	1909	28%	232	24%
	そう思わない	1865	22%	191	25%	1510	22%	164	17%
	あまりそう思わない	1082	12%	80	11%	853	12%	149	15%
	どちらともいえない	1583	18%	120	16%	1281	18%	182	19%
	ややそう思う	650	8%	52	7%	493	7%	105	11%
	そう思う	672	8%	52	7%	541	8%	79	8%
	非常にそう思う	429	5%	29	4%	349	5%	51	5%

「16. (患者様は) 他人に弱った姿をみせてつらいと感じていた」の項目については、57~62%と、どの施設においても約6割が「ややそう思う~非常にそう思う」と回答していた。

考 察

本調査はわが国のホスピス・緩和ケアにおけるケアの構造・プロセス・アウトカムについて、がん患者の遺族の評価を明らかにした。

ケアの構造・プロセスの評価については、一般病院、PCU、在宅ケア施設いずれにおいても、ほとんどの項目で70%台後半から80%以上で肯定的な回答をしていた。これは、遺族によって評価された、わが国の一般病院、PCUおよび在宅ケア施設において提供された緩和ケアの水準の高さを示している。この結果は、過去2回のJ-HOPEおよびJ-HOPE2の結果と一致する⁵⁾。特に、医師・看護師の対応、患者への精神的配慮、医師から患者・家族への説明など、医師や看護師をはじめとしたスタッフの患者や家族に対する対応やケアについて、どの施設においても肯定的評価が90%前後であり、遺族が非常に高く評価していることが示されている。一方で、一般病院では「家族への配慮」に対する肯定的評価の割合が66%と相対的に低くなっていた。また、「設備については肯定的な回答の割合が78%と、PCUと在宅ケア施設の94%と比較し、相対的に低い値であった。一般病院においては病院や病棟の役割として緊急入院や急性期の入院も多いことが、これらの結果を反映していると考えられる。一般病院においては、特に上記の2項目について、PCUや在宅ケア施設と比較し、やや改善の余地が残されていることが明らかになった。しかしながら、設備についての評価も決して低い値ではなく、逆に患者や家族が落ち着いて療養生活を送ることを意識しているPCUや、住み慣れた自宅で療養している在宅ケア施設が高い水準であったと考えられる。在宅ケア施設については、肯定的な評価の割合はほとんどの項目において90%前後であったが、「入院(利用)について」の項目のみ77%と

相対的に低く、終末期の在宅療養のアクセス、利用可能性については、今後の課題の1つであると考えられる。PCUはすべての項目で肯定的評価が90%前後であり、全体的に遺族によるケアの評価は高いことが示され、今後も高いケアの質の維持が期待される。

ケアに対する満足度については、どの施設においても80%以上が「非常に満足」、「満足」または「やや満足」と回答していた。特にPCUおよび在宅ケア施設においては、肯定的評価の割合がそれぞれ94%、96%と非常に高く、ほとんどの遺族が受けたケアが満足のいくものであったと評価していた。ケアの構造・プロセスにおいては個々の要素でやや改善の余地はあるものの、多くの遺族は全般的には満足のいくケアが提供されたと考えていることが明らかになった。

望ましい死の達成度については、施設および項目によって、「ややそう思う~非常にそう思う」と回答した割合が異なっていた。「身の回りのことはたいい自分でできた」「死を意識せずに過ごしていた」など、症状の重症度や病期の進行を反映する項目においては、「ややそう思う~非常にそう思う」の回答割合はどの施設においても低かった。一方「医師を信頼していた」「ひととして大切にされていた」など、最後の療養場所で受けたケアに関連する項目については、どの施設においても約80%から90%以上が高く評価しており、ケアの構造・プロセスの評価同様にわが国のホスピス・緩和ケアにおける遺族の評価は全体的に高いことが示された。一方で、身体的、精神的な苦痛の緩和に関連する「痛みが少なく過ごせた」「からだの苦痛が少なく過ごせた」「おだやかな気持ちで過ごせた」の3項目については、PCUと在宅ケア施設ではいずれの項目についても70%以上が「ややそう思う~非常にそう思う」と回答していたのに対して、一般病院では46~58%にとどまった。本研究対象において、一般病院では、緩和ケアチームの介入が必ずしもされていない患者の遺族も対象となっていることが、この結果に影響している可能性も考えられる。一般

病床においても、緩和ケアおよび緩和ケアチームの普及を含めた十分な症状緩和を受けられる体制づくりが今後の課題の1つとして挙げられる。「望んだ場所で過ごせた」の項目については、一般病院およびPCUでは「ややそう思う～非常にそう思う」の回答割合が44～57%であったが、在宅ケア施設では90%と非常に高い割合を示し「家で療養する、または最期を迎えること」を希望する患者が多いことが示唆された。今後も在宅ケアの需要はますます高まることが推測されるため、より充実した在宅療養支援体制の構築が急務であると考えられる。

ケアの構造・プロセス・アウトカムの評価の傾向は、全体として過去のJ-HOPEおよびJ-HOPE2とほぼ一致する結果であり、わが国のホスピス・緩和ケアの水準は高く維持されていることが明らかになった。個々の項目について挙げられた課題については、施設および医療政策による取り組みが必要であると考えられる。また、今後も定期的に大規模な全国調査を行うことによって、全体および施設間のケアの評価を行うことは重要であると考えられる。

文 献

- 1) Miyashita M, Morita T, Hirai K. Evaluation of end-of-life cancer care from the perspective of bereaved family members: the Japanese experience. *J Clin Oncol* 2008 ; 26 (23) : 3845-3852.
- 2) Miyashita M, Morita T, Sato K, et al. Good death inventory: a measure for evaluating good death from the bereaved family member's perspective. *J Pain Symptom Manage* 2008 ; 35 (5) : 486-498.
- 3) Miyashita M, Morita T, Sato K, et al. Factors contributing to evaluation of a good death from the bereaved family member's perspective. *Psychooncology* 2008 ; 17 (6) : 612-620.
- 4) Kinoshita S, Miyashita M, Morita T, et al. Japanese Bereaved Family Members' Perspectives of Palliative Care Units and Palliative Care: J-HOPE Study Results. *Am J Hosp Palliat Care* 2015.
- 5) Miyashita M, Morita T, Sato K, et al. A Nationwide Survey of Quality of End-of-Life Cancer Care in Designated Cancer Centers, Inpatient Palliative Care Units, and Home Hospices in Japan: The J-HOPE Study. *J Pain Symptom Manage* 2015 ; 50 (1) : 38-47 e33.
- 6) Miyashita M, Morita T, Tsuneto S, et al. The Japan HOspice and Palliative Care Evaluation study (J-HOPE study) : study design and characteristics of participating institutions. *Am J Hosp Palliat Care* 2008 ; 25 (3) : 223-232.